

平成21年度武蔵野市財政援助出資団体経営目標評価シート

| 団体名                   |   | 公益財団法人武蔵野市国際交流協会  |        |           |     |                         |      |  |
|-----------------------|---|---|--------|-----------|-----|-------------------------|------|--|
| ①<br>業                | 指標名   | 各事業における定員に対する応募者比率の向上   |        |           | 目標値 | 定員に対する応募者の割合を100%以上とする。 | 実績値  | 90.7パーセント                              |
|                       | 過去の実績   | 平成18年度  | 平成19年度 | 平成20年度    | 達成率 | 90.7%                   | 達成状況 | 未実施・ <del>未達成</del> ・達成                |
|                       | (単位: )  |   |        | 96.6パーセント |     |                         |      |  |
|                       | 取組内容  | ※21年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。<br>メディアをフルに活用した広報活動によりMIA及び各事業の周知徹底を図った。なお、データは日本語コース、青年のための国際理解フォーラム、夏期教員ワークショップ、シリーズ「世界を知ろう」こども国際交流クラブ、世界の家庭料理教室、プロの芸術家シリーズ、外国語会話交流教室の申込者数合計（1,126名）定員合計（1,242名）で除して算出した。                                       |        |           |     |                         |      |  |
| 一次評価                  | ※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。<br>当協会事業では、80カ国以上の在住外国人の社会参加の機会として、その生活経験を広く市民に知らせることも重視している。そこには日頃馴染みのない国の実情なども取り上げる必要があるが、その点の評価には課題も残る。他事業についても同様の側面があるが、引続き応募者を増加させるべく創意工夫を重ねていく。 |   |        |           |     |                         |      |  |
| 二次評価                  | 目標が未達成であり、定員充足率向上を期待する。昨年度も指摘したが、市からの補助金を主たる財源としていることを踏まえ、市民参加率の把握や国際交流協会の存在意義のPRにも努めること。   |   |        |           |     |                         |      |  |
| ②<br>財                | 指標名   | 特殊要因を除く経常経費（物件費）の削減   |        |           | 目標値 | 前年度比5%削減                | 実績値  | 前年度比15.8%削減                            |
|                       | 過去の実績   | 平成18年度  | 平成19年度 | 平成20年度    | 達成率 | 100.0%                  | 達成状況 | 未実施・未達成・ <del>達成</del>                 |
|                       | (単位: )  |   |        |           |     |                         |      |  |
|                       | 取組内容  | ※21年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。<br>事業全般にわたる見直しと合理化により事業ごとの経費及び管理費を削減した。例えば、むさしの国際交流まつりにおいてパネルの搬入を廃止したりむさしのFM放送料を年間約200千円引下げる等の効率化を実施した。<br>特殊要因：事務所賃借料（平成20年度後半より市負担からMIA負担へ変更）平成20年度事務所賃借料支出5,803千円、同平成21年度11,605千円<br>20周年記念事業（平成21年度1回限り）879千円 |        |           |     |                         |      |  |
| 一次評価                  | ※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。<br>事業全般にわたる見直しにより経常経費は特殊要因を除き15.8%と大幅に削減できた。今後とも引続き事業の見直しと合理化を進める。  |   |        |           |     |                         |      |  |
| 二次評価                  | 目標値を大きく上回ったことは評価できる。引き続き取り組みを進めるとともに、自主財源の確保についても検討すること。  |   |        |           |     |                         |      |  |
| ③<br>人<br>事<br>組<br>織 | 指標名   | 公益認定の取得   |        |           | 目標値 | 平成21年度中の公益認定の取得         | 実績値  | 平成21年12月15日東京都公益認定審議会において認定基準に適合するとの答申 |
|                       | 過去の実績   | 平成18年度  | 平成19年度 | 平成20年度    | 達成率 | 100.0%                  | 達成状況 | 未実施・未達成・ <del>達成</del>                 |
|                       | (単位: )  |   |        |           |     |                         |      |  |
|                       | 取組内容  | ※21年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。<br>平成21年度7月頃から本格的な公益認定申請書作成準備を開始し、東京都とのさまざまな折衝や申請書内容の変更を得て、平成21年11月19日に正式申請を行った。12月15日の内定を経て平成22年4月1日付けで公益認定を取得し、同日付で公益財団法人武蔵野市国際交流協会へ名称変更の登記を行った。この間公益法人に適合するための経理関係の見直しや変更、内部管理の強化等の体制整備を進めた。                   |        |           |     |                         |      |  |
| 一次評価                  | ※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。<br>公益財団法人にふさわしい事業の展開と経理・総務関係の強化によるガバナンスの確立を図っていく。   |   |        |           |     |                         |      |  |
| 二次評価                  | 目標達成を評価する。公益法人としての活動等に期待する。   |   |        |           |     |                         |      |  |